

1/17 恩納村総合防災訓練を合同で実施!!

12自治会・社会福祉協議会・村内福祉事業所・役場が連携し、総勢約150人で恩納村総合防災訓練を実施しました。本訓練では、自治会と社協に別れ、学びを深めた後、全体で合流し、福祉避難所※の開設・運営を実践的に体験しました。

【ワークショップ】それぞれの立場で「学ぶ」時間

・南恩納区公民館

12自治会が参加し、地区防災計画や地域の災害リスクについて考え「自分たちの地区で何が起こり得るのか」「誰が、どう動くのか」を話し合う時間となりました。

・恩納村総合保健福祉センター

社会福祉協議会、村内福祉事業所、恩納村(福祉・健康保険課)職員を対象に、福祉避難所の役割や支援が必要な方への対応について講義や備蓄倉庫の見学を実施し、受け入れ側としての視点を共有しました。

【実践】福祉避難所 開設・受付訓練

自治会メンバーは「避難者役」として参加し、受付・誘導を体験。パーテーションや簡易ベッドを実際に設置した避難所を見ていただき、災害時のイメージを共有しました。

社協や福祉事業所職員は、高齢者、障がいのある方、さまざまな事情を抱えた避難者を想定し、災害時の混乱やパニックについての準備の大切さを確認しました。

【講話】稲垣暁氏(沖縄国際大学非常勤講師)

災害時における恩納村の現状について講話を受け、救急車の台数や病院の不足などにより、公的支援が迅速に行き届かない可能性があることを認識し、自助・共助による災害対応の重要性について理解を深める機会となりました。



※福祉避難所とは、災害時に高齢者や障がい者など、一般の避難所での生活が困難な方々を対象に設置される避難所のことです。